

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ

報告数は32件（前月比8.0、前年同月比1.9）でした。1月をピークに7月まで連続して減少していましたが、件数は少ないものの増加に転じています。例年並みの推移で、今後は増加するものと推測されます。85%は成人例であり、人吉地区に多いようです。

小児科定点

（全体傾向）

報告数3,842件（前月比0.89、前年同月比1.12）でした。6月に小さなピークを迎えた後は減少傾向が続いています。感染性胃腸炎1,101件と大幅に増加したRSウイルス感染症708件（前月比5.6）が大きく占めています。手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑は減少しました。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数708件（前月比5.6、前年同月比1.3）でした。6月の最低値の後7月から増加に転じ、8月は前月比5.6と大きく増加しました。9月にピークを迎えた過去2シーズンと同様の推移であり、今後の発生動向に注意が必要です。報告の95%は2歳以下の乳幼児であり、前月同様、宇城、菊池、八代地区から多く報告されました。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数152件（前月比1.4、前年同月比2.8）でした。5月以降100件程度でしたが、8月は152件と多くなりました。1歳をピークとして6歳未満の年齢層に多くみられます。宇城地区から多く報告されました。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数333件（前月比1.1、前年同月比1.4）で、前月よりも増加しました。8月は過去2シーズンよりも高い値です。4歳を中心に2～7歳で多いようです。天草、菊池、宇城地区から多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1,101件（前月比1.1、前年同月比1.1）でした。前月よりも増加しましたが、件数は例年並みでした。1歳から5歳まで3桁の報告数です。菊池、有明地区からの報告が目立ちます。
5. 水痘 : 報告数41件（前月比1.1、前年同月比1.2）でした。6月以降大きな変動はなく、昨シーズンの夏季と同様の推移です。幅広い年齢から報告がある中で1歳の件数が多くなっています。1歳になったら早期に定期接種を受けるよう再度啓発する必要があります。
6. 手足口病 : 報告数488件（前月比0.3、前年同月比0.8）でした。6月をピークとして7月は減少に転じ、8月は著しく減少しました。年齢別では1歳の報告が最多でした。天草、菊池地区から多く報告されました。
7. 伝染性紅斑 : 報告数67件（前月比0.6、前年同月比13.4）でした。7月よりも減少しましたが、いまだ高い値で推移しています。有明地区からの多数報告が続いています。
8. 突発性発疹 : 報告数138件（前月比1.0、前年同月比0.9）でした。前月と大きな変動はなく、例年と同様に推移しています。菊池から多く報告されました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数457件（前月比0.7、前年同月比1.0）でした。例年通りの推移で、7月にピークを迎え8月は減少しました。年齢別では1歳が最多で、1～2歳で6割を占めています。天草地区から多く報告されました。

10. 流行性耳下腺炎 : 報告数60件(前月比1.3、前年同月比2.3)で、前月より若干増加し、前年よりも多い報告が続いています。宇城地区からの報告が多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数 117 件(前月比 1.6、前年同月 1.1)と、前月よりも若干増加しています。熊本 101 件、菊池 5 件、有明 10 件、天草 1 件と熊本以外では有明の発症が目立ちます。20~59 歳にピークがありますが、乳幼児層にも出ていますので注意が必要です。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :
報告数59件(前月比1.0、前年同月比1.0)で、前月比では1件少なく、前年同月比では3件少なくなっています。男女別は、男性に34件とやや多く見られています。年齢別では、男性は20~29歳に16件と多く、女性も20~24歳に14件と多く見られています。地区別は、熊本が44件と多く、次いで有明9件、御船3件、八代2件、菊池1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :
報告数28件(前月比1.4、前年同月比0.9)で、前月比は増加、前年同月比は減少しています。男女別は、男性に16件と多く見られました。年齢別では、男性は20~70歳以上と幅広く見られ、女性も25~70歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が16件と多く、次いで八代6件、菊池、宇城に各2件、御船、有明に各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :
報告数は7件(前月比0.9前年同月比0.7)で、前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、男性に5件と多く見られています。年齢別では、男性は20~24歳、25~29歳、35~39歳、40~44歳、55~59歳に各1件見られています。女性は20~24歳、40~44歳に各1件見られています。地区別は、熊本に5件と圧倒的に多く、次いで菊池、御船に各1件でした。
4. 淋菌感染症 :
報告数は17件(前月比0.6、前年同月比1.1)で、前月比は減少、前年同月比は僅かに増加しています。男女別では、男性に14件と圧倒的に多く見られました。年齢別では、男性は20~64歳と幅広く見られ、女性は20~24歳に2件、25~29歳に1件見られています。地区別は、熊本13件と圧倒的に多く、次いで御船、八代、有明、宇城に各1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :
報告数22件(前月比 1.1、前年同月比 1.5)でした。17件(77%)が70歳以上でした。乳幼児では0件です。人吉(6件、定点あたり6.0)が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :
報告数5件(前月比 1.3、前年同月比 1.0)でした。比較的少ない発生状況です。70歳以上が1件で、小児は0歳が1件、1-4歳で1件です。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数7件（前月比0.9、前年同月比1.2）でした。増加が続いています。全て熊本からの報告です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数2件（前月比 0.5、前年同月比 0.7）でした。熊本と阿蘇から1件ずつの報告です。

4. クラミジア肺炎： 報告数1件（前月比 +1、前年同月比 +1）でした。3年ぶりの報告です。

5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：

感染性胃腸炎（ロタウイルス）：報告数0件（前月比 -2、前年同月比 -1）でした。

届け出対象感染症

1類感染症：ありませんでした。

2類感染症：結核 17件

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 17件

4類感染症：E型肝炎 2件

レジオネラ症 10件

日本紅斑熱 1件

5類感染症：アメーバ赤痢 1件

ウイルス性肝炎 1件

カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1件

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件

侵襲性肺炎球菌感染症 1件

破傷風 1件

梅毒 16件

百日咳 33件